

第四十五回帝國議會  
衆議院

傳染病豫防法中改正法律案外一件  
(海港檢疫法中改正法律案) 委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十一年三月六日午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八木 逸郎君

理事 大林森次郎君

齋藤 壽雄君

三浦得一郎君

同月四日委員岩崎宗茂助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宜保成

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 潮 惠之助君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務省衛生局防疫官 內野 仙一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

傳染病豫防法中改正法律案

海港檢疫法中改正法律案

○八木委員長 是カラ委員會ヲ開キマス、昨日ノ續キト致

シマシテ、改正ニナリテ居リマス點ニ付テ、逐條ニ耳ツテ御

議シテ願ヒマス、第五條ニ付テ質問ヲ願ヒマス

○松下委員 其前ニ私ハ此前ノ委員會ニ出マセヌデシタカ

ラ、先ヅ病氣ノ定義ヲ聞カケレバ、逐條ノ審議モ分ラナイ

點ガアラウト思ヒマス、ソレモ簡單ニ第一條ニ定ムル

ケレドモ、赤痢ト疫病ノ區別ヲ聞キタイ

○八木委員長 ソレハ既ニ聞イテ出テ居ル筈デス、衝突シ

タ時ハ其時ニ伺フコトニ致シマセウ、第五條ニ付テノ御質

問ヲ願ヒマス

○潮政府委員 是ハ便益上私カラ説明致シタ方ガ宜カラウ

ト思ヒマス、現行法デハ御覽ノ通り、消毒ダノ清潔方法ヲ實

行スルコトニ付テ、義務者ガ全ク規定シテナイ、不明ナル

點デアリマスガ、殊ニ五條ニ對シマシテハ、本法ノ第三十一

條ニ違反者ニ對スル處罰ノ規定デアリマスノデ、苟モ處罰

ヲ以テ臨ンデ居ル以上ハ、矢張法ノ方ニ義務者ヲ明瞭ニシ

テ置イタ方ガ過チガ無カラウト云フ考デ、第四條ノ義務者

ト同様ナモノヲ舉ゲタト云フノガ改正案ノ趣旨デアリマス

○松下委員 第五條ニ新シク出テ居ル法文ハ「義務者ニ付

テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス」トアリマスガ、第四條第二

項ハ届出ヲ爲スベキ義務者トナリテ居リマス、サウシマス

ト、之ニ規定シテアリマスル戸主ダト、或ハ其他首長、管理

人又ハ代理者ナドガ、消毒ヤ清潔ノ方法ヲ講ズルコトニナ

リマスガ、費用ハ何處カラ出マス

○潮政府委員 費用ハ法ニ特別ニ規定ヲ以テ他人ナリ、或

ハ公共團體其他ニ命ジテ居リマス以外、即チ何モ書イテ居

リマセヌ場合ニハ、當然其實行スル者ガ出スモノト考ヘル、

即チ其義務者ハ自己ノ負擔ニ於テスルモノト解釋スルヨリ

外ナカラウ

○松下委員 義務者ガ費用ヲ負擔シテモ、勿論差支ナイノ

デアリマセウガ、若シソレガ貧家デアッテ、十分ナル方法ヲ

盡シ得ナイ場合ニ於テハドウデスカ

○潮政府委員 其場合ニ於テハ、第二十一條等ノ市町村ノ

負擔ニ歸スモノデアリマシテ、貧困デ困ルヤウナ場合ニハ、

市町村費ヲ以テヤルト云フコトニナリテ居リマスカラ、ソレ

デ差支ナイト存ジマス

○八木委員長 第七條

○大林委員 「隔離病舎其ノ他適當ノ場所」トアリマスガ、

其他ノ場所ト云フノハ、現行法デモ相當設備アル場所ト云

フコトガアルノデ、ソレグラウト思ヒマスガ、今度改正サレ

ヌノハ、其程度ハ如何ナル程度ノモノヲ適當ナ場所ト御認

メニナリマスカ

○潮政府委員 御答致シマスガ、現行法デハ內務省令ノ方

ニ、相當設備アル場所ト云フ規定ガアリマシテ、本法第七條

ニ「其ノ他適當ノ場所」ト入レマシタノハ大體ノ趣旨デアリ

マスガ、要スルニ其內容ハ傳染病舎、隔離病舎、其他之ニ準

ズベキ私立病院デアリマス、或ハ普通病院デモ傳染病

室、相當ノ設備ヲ具ヘテ居ル所ヲ包含致サレル積リデアリ

マス、施行規則ノ內務省令ニ「相當ノ設備アル場所」ト書イ

テアリマスモノハ、本令ニ於テ「適當ノ場所」ト云フ事ニ、文

字ハ變テ居リマスルケレドモ、是ハ第八條ヲ御覽下サル

ト、隔離病舎等ニ付テモ「適當ノ場所」ト云フコトガアル、強

テ第七條ニ於テ省令ノ通りニ「相當ノ設備」ト書カケレバ

ナラス必要モナイノデ「適當ノ場所」トシマシタ、其趣旨ハ

今日省令認メラレテ居ル所デ、傳染病ノ傳播蔓延ヲ防ギ

得ル不都合ノ無キ所ト云フコトニ考ヘタイト思ヒマス

○松下委員 サウシマス、適當ノ場所ト云フコトハ、自宅

モソレニ解釋サレマセヌデスカ、傳染病ノ虞ナイ隔離シテ

居ル民家デアッテハドウデスカ

○潮政府委員 只今御尋ノ自宅療養ノ問題ハ、法文ノ正面

ニハ入ラヌト考ヘマス、先程省令ノ事ハ申上ゲマシタガ、ソ

レハ一寸間違ヒマシタ、省令ニハ「相當ノ設備アル病院」ト

書イテアリマス、自宅療養致シマスノハ此内ニハ入りマ

セヌ、即チ本法ノ希望シテ居ル所ハ、當該官吏ガ傳染病豫防

上必要ト認メタ場合、傳染病舎、隔離病舎、或ハ適當ノ場所

ニ入レト云フノデアリマスカラ、自宅ニ療養ヲ許スモノ

ハ本法禁ジテ居ル譯デアリマセヌシ、此問題ニハ引掛

ラヌト思ヒマス、從來トテモ左様デアリマシテ、當該吏員ガ

強テ傳染病患者ヲ隔離病舎ニ入院セシムル必要ハ無イト

思ッテ居リマス、ソレデ自宅ニ於テモ療養ヲ許シテ居

デアリマス、ソレハ今後ニ於テモ其關係ハ同様ト存ジマス

○松下委員 自宅療養ヲ許シテ居ル縣ハ極メテ僅デアル、

現行法ニ於キマシテハ——却テ田舎ナドニ於キマシテハ、

民家其モノガ隔離シテ居リマスノデ、傳染病ノ傳播ノ虞ノ

ナイ場所ガアリマス、デアリマスカラ、適當ノ場所ト云フコトヲモ

ウ少シ廣義ニ解釋シテ、サウシテ傳染病ノ傳播ノ虞ノナイ

モノハ、民間ニ於テ自宅治療ヲ許シテ差支ナイモノト云フ

風ニ解釋シテ貰ヒタイノデスカ……

○潮政府委員 私ノ答ハ大體松下君ノ意見ト同様ト考ヘマ

スガ、何故カト申シマス、第七條ニ示シテアリマスノハ病

院ニ入ラシメヨウト云フノデアリマシテ、之ガ爲ニ當該吏

員ハ入ラシメル權限ガアル、ソレニ依ッテ這入レト言ハレタ

ナラバ、這入ル義務ガ生ジテ來ルノデアリマス、適當ノ場所

デ治療ナリスルコトハ、御話ノ通り出來ルコトダト考ヘテ

居リマス、併ナガラ田舎ノ一軒家デアリマシテモ、家族ガ多

數アッテ、其家族ニ對シテ極メテ傳染スル虞ノアル場合ニ

ハ、止ムヲ得ズ適當ナ場所ニ、隔離病舎ニ入院セシムルト云

フコトガ起リマセウガ、唯獨立ノ民家デアルト云フノミデ

ハ判斷ハ出來マセスケレドモ、要スルニ此條文ハ他ノ場所

ニモ入レサシムルト云フノデアッテ、獨立民家デ他ノ家族ニ

傳染スル虞ハナイト思ッテ居リマスレバ、此條文ヲ當該吏員

必要ハ無イトデアリマスカラ、自然サウナルト思ヒマス、靜

ニ治療致シテ居ルト云フコトニ現在デモナリテ居リマス、將

來モサウナルモノト考ヘテ居リマス

○八木委員長 第七條ノ質問ハソレ位デ宜サ、ウデアリマ

スカ、第八條ニ移リマス

○大林委員 第八條ノ二ニ付キマシテハ、此趣旨ハ保衛者

ニ適用サル、モノダト思ハレルノデアリマスガ、若シ

左様デアリマスト云フト、學校ノ教職員、若クハ寄宿舎ノ使

用人等ニ對シテモ、同一ノ命令ヲ以テ當該吏員ト云フヤウ

ナ御考デアリマス、其點ヲ伺ヒマス

○潮政府委員 是ハ御尋ノ通り、第八條ノニハ保菌者ニモ適用致スケレドモ、只今御尋ノヤウナ學校ノ關係者、是ノ者ハ矢張自宅ニデモ置イテ療養ヲスルコト云フ場合ハ、此條文ヲ當依メルベキモノト考ヘマス、殊ニ此學校關係ニ付キマシテハ、別ニ傳染病豫防令等モアリマスカラ、十分其點ハ教育上ニモ關係致シマスカラ、文部省ノ當局ト打合セマシテ實行シタイト思ヒマス

○松下委員 此第八條ノ二ト云フノハ、至極結構ナ法文ト思ヒマスガ、實際上行フ上ニ於テ如何カト思フノデアリマス、傳染病患者、保菌者ト云フコトニナリマスレバ、腸チスフニ一週程ヲ考ヘ、六箇月乃至四十二年ハ體內ニ居リマス、サウ致シマスト云フト、非常ニ其處ハ困難ヲ生ジハセヌカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、傳染病患者ト云フモノニ付テハ、定義ヲ下サヌデハイカスト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○潮政府委員 是ハ御話ノ通り、餘程實行スル上ニハ注意ヲ要スルコト、考ヘマス、デアリマスカラ 此條文ヲ實際ニ適用スルニハ、一般ノ國民モ明瞭ニ之ヲ理解シ得ルヤウナ方法ヲ執ラナケレバナラヌノデアリマス、私共ノ今日マデ計畫致シテ居リマス、此法文ノ施行ニ付テ申上マスル、例ヘバ「チフス」ノ保菌者ヲ取締ルト致シマシテモ、御話ノ様ナ數箇月、數年ノ保菌者モアルト云フコトデアリマスカラ、ソレニ向テ總テ業務ニ從事スルコトヲ禁止スルト云フコトハ、實行出來ナイノデアリマス、併ナガラ實行出來ナイカト云テ、如何ナル業務ニモ自由ニ從事セシムルト云フト、餘程取締上困難デアルカラ、其點ハ命令ヲ以テ業務ノ範圍ヲ出來ルダケ明瞭ニ致スト云フコトニシタノデアリマス、例ヘバ消化機ノ傳染病ノ患者、或ハ保菌者ト云フコトデ、飲食店業ニ從事スルコトヲ禁止ナケレバナラヌト云フコトハ一概ニ申サレナイノデアリマス、併ナガラ能ク考ヘテ見ルト、飲食店業或ハ料理店業ト云フヤウナモノハ、殆ど始末ガ出來惡イ併シ料理屋ノ商賣ヲシテ居ルカラ患者ヲ置クコトガ出來ヌトスレバ、料理店業ニ從事シテ居ル人デアアルカト云ツテ、帳場ニ居テ計算ナドヲシテ居ルコトモ出來ヌト云フコトハソレハ餘リ無理デアラウト思フ、ソレデアリマスカラ同ジ料理店業、飲食店業デアリマシテモ、直接ニ客ニ接スルコトニ從事スルダケ、禁止スルト云フコトニ致サストナルマイト思フノデアリマス、斯様ナ傳染病ニ付テモ、サウ云フ風ナ趣デ規定致シタイト考ヘテ居ルガ、差支ナカラウト思フ、現ニ結核豫防法ノ如キモノモ、ズット施行シテ居ルガ、御話ノヤウナ傳染病患者並ニ保菌者ニ制限ヲ與フルト云フコトハ、大變困難デアルト考ヘテ居リマス

○松下委員 法ノ趣旨ハ非常ニ賛成デアリマスケレドモ、是ハ實行ガ非常ニ面倒デアルト思ヒマス、私ガ傳染病患者及保菌者ニ對スル制限ト申シマシタノハ、是ハ狭イ意味ニ於テ斯クシテハドウカ、「コレラ」トカ「ペスト」トカ「腸チフス」ノ如キハ到底出來ナイ相談デ空文ニ等シキ法文デナイカト思フ

○潮政府委員 其點ハ隨分私共ノ見込ト違フヤウデアリマスガ、私共ハ無論法ヲ作ル上ニ付テハ、完全ニ十分ニ實效ノ舉ルト云フコトガ希望デアリマスケレドモ、之ヲ置クノト置カヌト何方ガ宜イカト云フト、置イタ方ガ傳染病ヲ取締ル上ニ都合ガ好イト思フ、デ「コレラ」ハ無論デアリマスガ「チフス」トカ其他ノ傳染病ニ對シテハ、今申サユニ命令ヲ以テ職業ノ範圍ヲ限局シテ、他人ニ障害ヲ與ヘナイ限リニスルト云フコトナラバ、少クトモ今日迄ノ取締ニ比較シテ、一段ノ進歩ヲ爲スト云フ考デアル

○松下委員 保菌者デアルト云フコトハ、ドウ云フ風ナ目標ヲシテ居ラレルノデアリマス、ドウデアリマスカ

○潮政府委員 ソレハ矢張保菌者ト云フコトヲ醫師ガ診斷シテ、ソレヲ醫師ガ認メ、或ハ又當該吏員ノ方デ健康診斷バ、其他ノ方法ニ付キマシテ發見スルト云フコトニナレバ、是ハ屆モ出サレバカラザルシ、又帳簿ニモ記載ヲシテ此人ガ傳染病患者デアルト云フコトヲ明瞭ニシテ置ク積リデアリマス、サウシテ其保菌者ニ對シテハ、第二條ノ第二ニ依リマシテ、出來ルダケノ程度ニ於テ其規定ヲ設ケテ、其規定ニ依テ取締ベテ取締スルコトニナルノデアリマス

○松下委員 「チフス」患者デ、既往十箇年カラ今日マデ「チフス」ニ罹ラタ者ノ數、殊ニ治癒シタ者ノ數ハドウ位デアリマスカ

○内野衛生局防疫官 「チフス」ニ罹リマシテ健康ニ恢復シタ者ノ數デスカ

○潮政府委員 只今内野防疫課長カラ御答致シマスガ、其前ニ一寸申上ゲマスルノハ、只今松下君ノ御話ハ——差上ゲデアリマセヌデシタカ、此傳染病患者ノ表ニ就テ御覽下サレバ、患者デアテ死亡シナイ者ハ、結局恢復シタコトニナルノデアリマス、一々申上ゲルノハ繁雜デアラウト思ヒマス

○松下委員 年々違フコトハ勿論分ッテ居リマスガ、此數デハ大分大ナルモノデアラウト思ヒマス、保菌者ノ此澤山ノ人間ヲ取締ルト云フコトハ、ドウデアラウカト思フ、實際ニ於テ實行上ドウカト思フノデアリマス、職業ヲ限定シテ、オ前ハ此職業ニ就クコトハナラヌト云フヤウナ風ニシマスノハ、至極結構デ趣旨ハ賛成デアリマスガ、實效ハ舉ルカ、空文ニ等シクナリハシナイカト思フノデアリマス、此理髮業

者ノ消毒ノヤウニ、其消毒方法ノ履行ヲ致シテ居ルガ、却テ其爲ニ病菌ヲ引上ゲルトカ云フコトニ止ッテ、消毒ノ實效ガ舉ッテ居ラス、是ハ勿論理髮業者ニ對スル消毒履行ト趣ガ違ッテ居リマスケレドモ、實際ノ上ニ於テ——實際上ノ問題デアリマス

○八木委員長 一寸松下君ニ承テ置キマスガ、先程ノ御話デハ健康者ハ皆保菌者ト言ハレマシタガ「チフス」ノ健康ニ恢復シタ者ハ保菌シテ居リマセヌ

○潮政府委員 只今ノ御話モ、先程モ御話致シタ通り少シ御見込ガ違ヒマス、全然空文ニ屬スルト云フノト、吾々ハ相當效ガアルト云フノト、甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、其點ハ何トモ御答ガ困難デアリマス、理髮業ノ例ヲ御引キニナリマシタガ、成程理髮業ノ取締規定ニ於キマシテ、専門家ガ理想トスルダケノ效果ヲ舉ゲテ居ラスカモ知レマセヌガ、私共ハ取締致サザル前ヨリハ、餘程程度モ進ンデ、消毒其他ニ付テモ相當ノ效果ヲ舉ゲテ居ルト見テ居リマス、ソレハ各々根本問題ニ付テ少シ見方違ヒマス

○松下委員 例ヘバ「チフス」ノ例ヲ引イテ申上ゲマスガ、「チフス」ノ傳染ハ——傳染徑路ハ、現今ニ於キマシテハ四五年前ノ傳染徑路トハ全ク違ッテ居リマス、今マデハ腸ヨリ這入ルモノトセラレテ居タケレドモ、サウデナイ、却テ此咽喉ノ周圍殊ニ扁桃腺ノ中ニ這入ッテ行ク、先ヅ血液ノ疾病ヲ起シテ、腸ニ大ナル變化ヲ起スモノデアルト、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、サウシテ尿及糞便ト共ニ常ニ菌ガ排泄セラレ、勿論其菌ノ排泄セラレル時期ハ人ニ依ッテ違ヒマスガ、尿カラ出ル場合ハ極メテ其數ガ多イ、ソレデアリマスカラ、業務ニ從來スルヨリモ尿ノ制限ガ無ケレバ、各地ニ隨所ニ於テ隨意ニ尿ヲ撒散ラスト云フ處ガアルデアリマスカラ、趣旨ハ非常ニ結構デアアルケレドモ、非常ニ實際問題トシテハ困難デハナイカト、ソレヲ憂慮シテ居リマス

○潮政府委員 御話ノヤウニ「チフス」ノ菌ガ尿、糞便カラ出ルト云フコトハ、私モ聞イテ居リマスガ、サウ云フ事ハ考慮致シマシテ、第二條ノ二ノ第二項ニ依ッテ規定ヲ設ケル積リデアリマス、苟モ放便アル以上ハ、廁ニ上ッテ其他ニ於キマシテ、相當ノ清潔法ナリ、消毒法ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、今路傍デ放尿スルト云フコトハ禁ジテ見マシテモ、中ニ困難デハナイカト——御話ノヤウニ如何ナル規定ヲ設ケテモ困難デアリマス、殊ニサウ云フ天空海潤ノソレ等ノ場所ニ於テ、放尿スルベカラズト規定致シマシテモ、ソレヲ實行ガ困難デアル、ソレガ出來レバ結構デアリマスガ、獎勵ハシテモ取締ハ出來ナイ、或ル程度マデハ取締リラスベキモノカト云フノガ、意見ノ相違ニナラウカト思ヒマス、私共ハ餘リ徹底ヲ期スト云フト却テ效果ガ

ナイ、寧ろ相當ノ程度ニ於テ規定ヲ設ケレバ、相當ナ結果ガ  
舉ゲ得ラレルデアラウト考ヘテ居リマス、要スルニ傳染病  
豫防法ヲ改正シテ取締リヲスルノガ、根本ノ問題デハナイ  
カト思フ、十分ニ研究ヲシタノデアリマスガ、先程カラ御答  
致シタヤウナ意見ヲ持ッテ居リマス

○大林委員 此問題ハ實行ノ困難ナト云フコトハ勿論ノ事  
デアルガ、此實行モ取締ノ程度如何ニ依ッテハ、或ル程度マ  
デハ實行シ得ラレル事デアラウト思ヒマス、要ハ其取締ノ  
程度如何ト云フノガ問題デアラウト思フ、其點ニ付テ成ベ  
ク詳細ノ御説明ヲ承リタイ

○潮政府委員 一昨日委員長ヨリモ御話ガアリマシタ如  
ク、例ヘバ第八條ノ二ノ第二項ノ命令ノ内容、サウ云フ事デ、  
ハ今刷リマシテ差上ゲマシタノデアリマス、サウ云フ事デ、  
之ヲ大林サンモ御覽ヲ願ヒタイ、無論ハ確定議決アリマ  
セスカラ、單純ナ吾々ノ腹案ト致シテ御覽ヲ願ヒタイ

○松下委員 保菌者ノ檢診法ニ付テ承リタイ、若シ確定議  
決ガナカッタラバ、衛生局長ノ御腹案ダケデモ宜シウゴザイ  
マス

○内野衛生局防疫官 技術ニ關シマスルカラ——保菌者ノ  
確定法ハ、患者ガ恢復ヲ致シマシタ場合ニ、サウ云フ病狀ガ  
アツタ以上ハ患者デゴザイマスガ、主要症狀ハ無クナリマシ  
テ、健康狀態ニ復シマシテモ尚ホ菌ヲ排泄シテ居ル場合、  
ソレカラ全然健康デアッテモ菌ヲ保有シテ居ル場合、此二ツ  
ノ場合ガ想像サレマスガ、詰リ其場合々々ニ於テ、其菌ヲ證  
明シタ場合ハ保菌者トスルノデアリマス

○松下委員 政府委員ノ仰シタルコトハ普通ノ遺方デアリ  
マスガ、保菌者ハ一遍ノ檢査デ分ラナイト思ヒマス、檢査ハ  
二度モ三度モヤラナケレバナラス、又三月四月ノ間歇時ニ  
發見スル事ガアル、今日調ベテモ、三箇月ノ後ハ立派ニ菌ヲ  
出スコトハ随分例ガアリマスカラ、其處マデ踏込ンデ調ベ  
ルノデアリマスガ、ソレヲ承リマス

○内野衛生局防疫官 御説ノ通り病氣ニ依ッテ一回デハ困  
難ナ事ガアリマスガ、併シ二回デ無イ事ガ確實ニナル「コ  
レラ」ノヤウナモノモアリマス、非常ニ間隔ニ置イテ出ルモ  
ノヲ突留メルノハ困難デアリマスノデ、普通二回ノ檢査  
デ細菌檢査ヲ終ヘルコトニシテ居リマス、「コレラ」ハ三回  
若クハ四回マデヤリマスガ、ソレデ見付カリマシタナラバ  
保菌者トナリマス、「コレラ」ニ付テ一度菌ヲ證明シテ保菌  
者ニナリマシタ者ハ、又二十四時間ノ間隔ヲ置イテ調ベ  
ルコトニシテ居リマス、併シ三箇月四箇月ト云フヤウニ、長イ  
間ノ間隔ヲ置イテ調ベルコトハ、行政上サウ云フ取扱ハ困  
難デアリマスノデ致シマセス

○松下委員 只今ノ御答ノ通りデアルト、此法文ハ矢張空  
文ニナリハシナイカト思ヒマス、傳染病ハ數箇月又ハ數年  
ニ亘ル保菌者ガアル爲ニ、大流行ヲ來スコトガアリマス、現  
行法デ傳染病患者ガアルト、其家族ノ者ヲ一週間カ五日間  
隔離スルニ過ギナイ爲ニ、大シタ成績ガ得ラヌノデアリマ  
スガ、是ハモウ少シ研究シタナラバ良イ案ガ出ヤシマイカト  
思ヒマス

○三浦委員 後カラ御配付ニナリマシタモノハ、是ハ附則  
デ出マスノデスカ  
○八木委員長 ソレハ此案ニ依リマスルト、命令、勅令ニ  
讓タモノガ多イノデ、前同ノトキニ決定ニナッテ居ルモノ  
ガアルナラ、草案デモアレバ示シテ貰ヒタイト云フノデ、之  
ガ示サレタノデアリマス

○大林委員 現在ニ於テ各府縣デモ檢査所ハ無イコトハア  
リマセマスガ、極メテ不完全デアル、且ツ大抵縣廳ニ置イテア  
ル位ニ止マルト思フ、此改正案ニ依ルト、成ベク細菌檢査所  
ハ完全ニ且ツ多數ニ設ケルコトガ必要デアラウト思ヒマス  
ガ、ソレニ付テ御考ガアレバ承リタイノデアリマス

○潮政府委員 御尤ノ話デアリマス、其點ニ付テハ當局モ  
今日ノ細菌檢査所ノ狀態デハ満足ガ出來マセス、縣廳ニ  
ル外ニ支所ヲ置クトカ、成ベク設備ヲ完全ニスルト同時ニ  
人モ増加致シマセスト、一般ガ迷惑シマスカラ、其點ハ獎勵  
シタイト思ッテ居リマス

○八木委員長 ソレデハ次ノ條ニ移リマス、第十二條  
○潮政府委員 是モ簡單ニ申上ゲマス、御覽ノ通り現行法  
ノ第十二條ハ、公共ノ工事ノ爲メデナケレバ改葬ヲ許サナ  
イノデアリマスガ、其實況ニ於テ、ドウシテモ單ニ公共ノ工  
事ノ爲メト云フ許リデハ穩當デナイ、其必要デナイ事モア  
リマス、例ヘバ天災ノ爲ニ墓場ガ崩レタトカ、或ハ又一定ノ  
系統ヲ立ッテ墓地ノ整理ヲスルトカ云フ場合ニ、公共ノ工事  
ノ爲メデナケレバ改葬ヲ許サナイト云フト、事實上ニ違サカ  
ル感ガアリマスノデ、之ヲ廣クシテ、特別ノ事由ニ因ッテ警  
察官署ノ許可ヲ得テ、警察官署ニ於テ病氣傳播ノ虞ナシト  
認メタ場合ハ、一々其場合ハ、特別ノ場合ヲ證シテ許可ス  
ルト云フコトヲ、此改正案デ出來ルヤウニシタノデアリマ  
ス

○八木委員長 ソレデハ其次ノ第十五條モ別ニ質問ハアリ  
マセスヤウデスカラ、第十六條ノ二項「昆蟲等」ト云フ文  
字ガ遺入ッテ居リマス、是モ異議ナイデセウ、第十八條「船舶  
汽車」ヲ「船舶汽車電車」トスル、是モ宜イデセウ、ソレカラ  
第十九條

○潮政府委員 第十九條ニ付テ一言申上ゲマスガ、御覽ノ  
通り現行法ハ、死後ニ於キマシテ病氣傳播ノ虞アル時ハ、飲  
食物其他ノモノニ制限ヲ設ケマシテ、地方長官ガ必要ヲ認

メレバ、其物件飲食食物ヲ廢棄スル事ニナッテ居リマシタ、併  
シ色々考ヘテ見ルト、成程根本ノ考カラシテハ、廢棄ニ越  
シタコトハナイト思ヒマスケレドモ、サウ廢棄ガ必要ダト  
云ッテモ、其物件廢棄ト云フ最後ノ手段ニ出ルコトハ穩當デ  
ナイ、其必要モ無イ點モ多イノデアリマス、廢棄モ致シマ  
スガ、廢棄マデニ至ラスデモ宜イモノハ、其處分ヲ地方長官  
ニ於テ爲サシムルコトニ致シマシタ、例ヘバ飲食食物デモ突  
然廢棄シナイデ、或ハ魚類トカ、肉類トカ、サウ云フモノハ  
之ヲ點檢ニスルトカ、或ハ極ク鹽ノ辛イ鹽漬ニスレバ、傳染  
病ノ傳染ノ虞ノナイ場合ガアラウト考ヘマス、是ハ一般ノ  
便宜上カラ此程度ニ擴メタノデアリマス

○八木委員長 第二十二條  
○松下委員 第二十條「集治監」ト云フノガ、此官廳ノ中  
ニ入ッテ居リマスガ

○潮政府委員 是ハ現行法ニ集治監ト云フ文字ガ入ッテ居  
リマスガ、御承知ノ通り今日ハ集治監ト云フノハ官廳ノ上  
ニ廢止ニナリマシタ、總テ監獄ニナッテ居リマスノデ、集治  
監ヲ削ルコトニ致シタノデアリマス

○八木委員長 ソレカラ第二十一條「昆蟲等」ト云フ文字、  
是モ宜シウゴザイマセウ、第二十二條「府縣稅又ハ地方稅」  
ヲ「北海道地方稅又ハ府縣稅」ニ、ソレカラ「府縣稅」ニ「道  
府縣稅」ニ於テ、ソレカラ「前各號ノ外此ノ法律ニ依リ地方長  
官ニ於テ施行スル豫防事務ニ關スル諸費」ト云フ字ガ遺入  
リマシタ、其次ノ二十四條「國庫ハ」ノ下ニ「勅令ノ規定ニ  
從ヒテ」ヲ、其ノ六分「一」ノ下ニ「乃至三分」ト云フノヲ加ヘ  
ルト云フコトデ「府縣稅又ハ地方稅」ヲ「北海道地方稅又ハ  
府縣稅」ニ改ムト云フ修正トナッテ居リマス、之ニ就テ説明ヲ  
願ヒマス

○潮政府委員 第二十五條ノ改正ニ付テ説明ヲ申上ゲマス  
御承知ノ通り今日ハ府縣費、北海道ノ地方費ノ傳染病豫防  
費ノ國庫補助額ハ、何モカモ殘ラズ六分ノ一ニナッテ居リマ  
ス、併シ考ヘテ見ルト、同ジ傳染病ニ付キマシテモ、例ヘバ  
「コレラ」デアルトカ「ペスト」デアリマスノカ云フノハ、元  
來我國土ニ無イ病氣デアリマシタ、孰レモ外來ノ傳染性ノ  
疾患デアリマスカラ、サウ云フモノガ偶々國內ニ遺入ッテ來  
テ、而モ之ヲ豫防スルニハ迅速ヲ要スルト云フヤウナ關係  
カラシテ、經費モ多額ニ上ル場合ガ多イノデアリマスカラ  
是等ノモノハ、唯始終內地ニアリマスル病氣ノ豫防ト同一  
ニハナリマセマスカラ、國庫ガ地方團體ニ對シテ「六分ノ一」  
ト云フノヲ、「三分ノ一」ト修正致シマシタ、「コレラ」ト「ペ  
スト」ノ豫防費ニ付テハ、國庫ハ三分ノ一ヲ援助シテヤラウ  
ト云フノデアリマスガ、去リテ總テノ傳染病豫防費ニ向ッ

テノ補助額ヲ増加スルコト云フコトハ、國庫其他ノ都合モアリマスカラ、是ハ在來ノ六分ノ一ニ止メテ置クト、斯ウ云フ意味ヲ以テマシテ、改正案ヲ出シテ次第デアリマス。

○八木委員長 私人一寸此點ニ付テ御聞キシタイノデスガ、實ハ此點ニ向テヨリ宜クナリマシタコトハ感謝致シマスガ、時ニ私ノ記憶デハ、傳染病費ト云フモノハ町村ガ本體デアッテ、町村費ガ幾ラ、府縣ガ幾ラ補助シテ、府縣ノ補助ニ對シテハ、又國庫ガ幾ラ補助スルノデアリマス。

○潮政府委員 第二十四條デ「府縣ガ地方ニ補助シマシテ、第二十五條デ府縣ニ對シテ國庫ガ補助ヲ致ス、斯ウ云フコトニナッテ居リマス」

○八木委員長 ソレニ付テ國庫ハ「コレヲ」ベスト「ニ三分ノ一ヲ補助スルコト云フコトハ、不足デハアリマス」ケレドモ、今迄ガ六分ノ一デ非常ニ宜シイコトニナッテ居リマス、同時ニ町村ニ對シテ縣費ノ六分ノ一ト云フコトデハナカッタカト思ヒマスガ、其通りデアリマス。

○內野衛生局防疫官 是レハ縣令デ色々ニ定メテ居リマス、特別ノ場合ハ全部ト云フコトモアリマスガ、通常六分ノ一ヨリ多イ處ハナイヤウデアリマス。

○八木委員長 分リマシタガ、吾々ハ府縣デ六分ノ一ヲ補助シ、ソレニ對シテ國庫ガ六分ノ一ヲ補助スルヤウニ、傳來的ニ覺エテ居リマスガ、實際ニ於テサウ云フヤウニ變テ居ルコトモアリマセウガ、之ニ對シテ既ニ國家ガ倍額ノ補助ヲスルコト云フコトニナッテ居ル以上ハ、町村ニ對シテ府縣ガ、ソレヨリ以上ニ多ク前來ヨリモ補助スルコト云フ事ニ向テ、何カ內務大臣カラ府縣ノ方ヘ命令ヲ出シタカ、何トカ云フ方法ヲ執ラレハ御趣意ハナク、唯ソレハ其場合ニ於ケル府縣ノ裁量ニ任ズルコト云フ御趣意デアリマス。

○潮政府委員 其點ハ私カラ腹案ヲ申上ゲテ御參考ニ供シマスガ、衛生當局ト致シマシテモ同様ノ感ヲ持ッテ居リマス、苟モ國庫ガ發費ヲスル以上ハ、府縣モ亦地方ニ對シテ發費ヲシテ實ヒタイノデアリマス、固ヨリ是ハ內務省トシマシテモ、地方當局ト餘程審議シナケレバナラヌノデアリマスガ、第二十四條ノ命令ノ規定ニ從テ府縣ニ命令スル、此命令ニ付テ成ベク府縣ハ市町村ニ對シテ、三分ノ一ノ補助ヲサセタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマス。

○八木委員長 是ハ希望デスガ、是非當局モ命令カ何カデ內達サレヤウニシテ戴キタイ——モウ此箇條ニ付テ御質問ハアリマセウカ——第二十九條ニ付テ罰金刑ノ金高ガ前ト變テ居ルヤウデアリマス、確カ中央衛生會カ何カデ御掛ケニナツタモノヨリハ金ガ多クナッテ居ルヤウニ思ヒマスガ、若シ左様デアリマシタラ理由ダケ一寸承ッテ置キタイ

○潮政府委員 第二十九條カラ第三十一條マデ、三箇條ハ罰則ノ規定デアリマスカラ、便宜上一度ニ申上ゲタイト思ヒマス、當局ガ御覽ノ通りノ提案ヲ致シマシタノハ、畢竟他ノ法令トノ關係ヲモ見、又從來ノ成績ヲモ見マシテ、凡ソ此處マデ罰金刑ヲナルナラバ、是デ大體衛生上ノ目的ヲ達スルヲラウト考ヘテ規定ヲ致シタノデアリマス、例ヘバ先頃本院ヲ通過致シマシタ家畜傳染病豫防法、是等ノモノトモ餘程親シ合ヒマシテ、此點ニ於テ定メタラバ適當デアラウト、斯様ニ考ヘタノデアリマス。

〔速記中止〕

○八木委員長 是カラ傳染病豫防法中改正案ノ方ハ暫ク保留シテ置キマシテ、海港檢疫法中改正法律案ノ委員會ニ移リマス。

○潮政府委員 ソレデハ只今御審議ノ始リマス海港檢疫法ノ改正案ニ付キマシテ、大要提出ノ理由ヲ申上ゲマス、是モ本會議ニ於テ內務次官カラ大體ハ申上ゲマシタ、幾分之ヲ補足致シタイ存ジマス、第一條デ「及臺灣」ト云フ文字ヲ削リマシタガ、第二條、第四條及第五條等ニモ臺灣ト云フ文字ガアリマスノヲ、總テ削除シタノデアリマス、其理由ト致マス所ハ、今日迄海外カラ來マス船舶、我ガ領土デアアル臺灣カラ來マス船舶、全然檢疫ヲ同ジク扱ッテ居ッタノデアリマス、併シ臺灣領有以來既ニ數十年經テマスカラ、彼方ノ衛生狀態ハ殆下面目ヲ新タニ致シテ居リマス、又彼方ノ衛生狀態ハ、事實上內地ノ官憲ト間ニ事情ガ能ク分ッテ居リマスカラ、之ヲ今日以後ニ於キマシテ、全然海外ノ港ト同様ニ扱ウト云フコトハ甚ダ當ラ得ナイ、斯様ニ考ヘマシテ、臺灣ト云フ文字ヲ削リマシタ、其削ッテ始末トシマシテハ、第十二條ノ二ヲ御覽下サレバ分ルノデアリマス、十二條ノ二ニ於キマシテ朝鮮、臺灣、樺太カラ來ル船舶ハ本法ヲ準用スルコト云フコトニナリマシテ、更ニ十二條ノ三ニ是等ノ地方カラ來ル船舶ニ對シマシテ、此船舶ニ對スル檢疫ニ付キマシテ、命令デ以テ別段ノ規定ヲスル、即チ出來得ベキダケ簡易ノ契約ヲシテ、内地ト是等領土ト間ノ交通、經濟等ノ便宜ヲモ考ヘテシタイト云フ希望ヲ以テマシテ、總テ臺灣ヲ削リマシタノデアリマス、ソレカラ第一條ノ二ハ、是ハ傳染病豫防法ニ付テ申上ゲマシタ通り、病原體保有者ニ關スル規定ガ無イノデアリマスカラ、是モ明瞭ニ茲ニ揭ゲマシタノデアリマス、ソレカラ第二條ニ但書ヲ加ヘマシタガ、是ハ船舶會社ヨリノ希望モアリマスルシ、又實際檢疫モスル者ヨリ意見モアリマシテ、現行法ハ海外諸港カラ檢疫ヲ執行スル港ニ來ル船舶ハ、總テ一旦港外ニ止マテ、サウシテ檢疫ヲ受ケ、許可書ガナケレバ港ニ這入レナイト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、實際ニ付テ見マスルト、隨分暴風

トカ其他天候等ノ關係ニ於キマシテ、大キイ船デモ左様デアリマスガ、殊ニ中型以下ノ船ニナリマス、檢疫ノ濟ム迄港外ニ待ッテ居ルコト云フ事ハ、非常ニ困難デアリマスカラ、サウ云フコトハ事情ヲ酌シテ、港外デ檢疫ヲ受ケ難イト云フ場合ニハ、特ニ檢疫官吏ガ安全ナリト考ヘテ居ル地點マデ動カシテ、之ヲ受ケ得ルヤウニシテヤ、タ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、場合ニ依リマシテハ港内ノ或一地點ヲ擇ビマシテ、其處デ檢疫ヲ受ケサシメハ港内ノ或一地點ヲウト思ヒマス、ソレカラ、第二條ノ第二項ハ、現行法ハ傳染病患者ノアツタ場合ダケヲ見テ居リマスガ、今日ノ上カラ見マスレバ、患者以外ニ少クモ或ハ病源ノ汚染シタ場合、若クハ疑ナル場合モ、是ト同様ニ扱フ必要ガアルノデアリマス、ソレカラ第四條ノ改正ハ、大體臺灣及病源ノ關係ハ今申上ゲタヤウナ次デアリマス、第五條ニ移リマシテモ同様デアリマス、第六條ノ改正モ傳染病豫防ト同ジ趣意デアリマス、病源汚染ノ點モ左様デアリマス、唯此處デ特ニ御耳ニ入レテ置キタイノハ、第一號ニ「又ハ物件」ト云フ文字ヲ入レマシテ從來船舶ニ對シテハ患者ノ處分ヲ致シマシタガ、矢張ハ積ンデ來マシタ物件ノ處分ニ付テモ、相當ノ検査ヲ致ス必要ガアルト考ヘマシタ、ソレカラ第五號ノ改正ハ、現在傳染病ノ疑アル患者ノアツタ場合ニ「ツアル、從船ヲ命ズル規定デアリマス、是ハ患者ノアツタ場合ノミナラズ、其他ニ於キマシテモ、或ハ鼠族ヲ發見シタト云フヤウナ場合ニ於テ、病菌ヲ検査スル必要上、從船ヲ致ス必要ガアルノデアリマス、此終リノ「檢疫官吏ハ船舶ヲシテ前項ノ消毒方法又ハ鼠族昆蟲等ノ驅除ヲ施行セシムルコトヲ得」トアリマスガ、現行法ノ立前ハ、消毒トカ鼠族ノ驅除ト云フコトハ、總テ檢疫官吏ガ自ラ手ヲ下シテヤル、檢疫官吏本位ニナッテ居リマシタガ、實際ヲ見マスルト、船舶會社ニ於キマシテ、相當消毒ノ設備ナリノ完備シテ來ル船舶會社モアリマスルシ、又一般ノ研究ト致シマシテモ、消毒會社等ノ發達モ見テ居ルノデアリマスカラ、何モカモ檢疫官吏デナケレバ消毒ヲシナイト云フヤウナ、嚴格ノ事ニシテ置クコトハ却テ宜シクナイ、其場合ニハ其方ガ適當デアラウト思ヒマスカラ、斯様ニ改正致シマシタ、此第七條ノ方ハ第二項ノ改正デアリマスガ、入港後前條第一項第五號ノ規定ニ依ッテ停船ヲ命ジラレタル船舶ハ、矢張檢疫官吏ノ許可ヲ受ケナケレバ上陸モ陸揚モ出來ナイ、一面ニ於テハ許可ガアレバ、ソレガ出來ルト云フコトニシタノデアリマス、是ハ入港前ノ船舶ニ付キマシテハ、其第二條ノ規定デ怪シイモノハ止メテ置キマス、許可ガアレバ殘ルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、入港後ノ船舶ダケニ規定ヲ缺イテ居リマスカラ、之ヲ明瞭ニ此處ニ入レタノデアリマス、第九條ハ只今第六條ノ末項ニ

付テ申上ゲマシタト同ジヤウナ趣旨デ、現行法ハ消毒等ヲ  
檢疫官吏ガ總テスルコトニナツテ居ルノヲ、船舶ニサセル事  
ニナツカラ、第九條ニ於テ檢疫官吏ガ或ル場合ニハ補助ヲ  
スルト云フコトニナツタノデゴザイマス、ソレカラ第十一  
條、第十二條ハ罰金、即チ制裁ノ規定デアリマシテ、元來ガ  
外國カラ病毒ヲ舶來スル場合デアリマスカラ、從來ノ處罰  
ハ重イコトニナツテ居リマスルガ、此度モ之ニ準ジマシテ、  
内地ノ傳染病豫防法ヨリハ少シ重クシテアリマス、併ナガ  
ラ第十二條ノ二及第十二條ノ三ニ付テ、今一應申シマスガ、  
第十二條ノ二ハ先程申上ゲマシタヤウニ、我が主權ノ及ブ  
土地カラ來ル船舶ニ付テハ、海外ト全然同一ニ扱フト云フ  
コトハ穩當デナイケレドモ、大體ニ於テ其規定ヲ準用スル  
ノダト云フ規則ヲ置イタノデアリマス、サウシテ此處デ御  
參考ニ御耳ニ入レテ置キタイノハ、朝鮮ノ事デアリマスガ、  
海港檢疫法ノ現行法ガ制定ニナリマシタ時ニハ、朝鮮ハ領  
域デハ無カッタノデ、是ハ全ク外國扱デアッタノデアリマス、  
然ルニ朝鮮ヲ併合致シマスル際ニ此問題ガ起ツテ、此時ニモ  
緊急勅令デ出テ居リマシタガ、朝鮮ガ愈々併合スルケレド  
モ、此檢疫ニ付テハ他ニ規定ヲ拵ヘヌ間ハ、矢張從來ノ通り  
デヤルト云フコトデ、即チ海外カラ來ルモノト同ジ扱ニシ  
ロト云フコトニナツテ居リマスノデ、今日迄ハ領土デアリナ  
ガラ、海外ト同ジ取扱ヲ致シテ居リマス、併ナガラ先程申シ  
マスルヤウニ、臺灣、朝鮮其他樺太モ同様デアリマスガ、是  
等ニ對シテ特別ナ關係ガアリマスカラ、之ヲ一括ヲシマシ  
テ、先ヅ法ノ準用ヲ致スト云フコトカラ致シマシテ、更ニ第  
十二條ノ三ニ於キマシテ、是等ノ地方カラ參リマスル船ニ  
對シテハ、相當ナ命令規定ヲ以テ、檢疫ハ是デ行ケルコトニ  
ナリマシタ、第十二條ノ三ニ、其外ニ内務大臣ノ指定スル海  
外諸港ヨリ來ル船舶、及此法律ヲ適用シ難キ船舶ニ付テモ、  
命令ヲ以テ相當ノ規定ヲスルコトニナツテ居リマスガ、此内  
務大臣ノ指定スル海外諸港ヨリ來ル船舶ト云フノハ、私共  
ノ腹デハ斯様ニ考ヘテ居リマス、例ヘバ關東州、或ハ又新シ  
イ問題トシマシテハ、南洋ノ委任統治ノ地域、又今日ノ青島  
トカ——固ヨリ青島ハ如何ニ成行キマスルカ存ジマセヌ  
ケレドモ、只今ノ所デハサウ云フ按排デ、少クトモ我國ノ官  
憲ノ力デ衛生其他ノ事務ヲ掌ツテ居ル處ハ、臺灣、朝鮮、樺太  
ト順次ニ向フノ事情モ明瞭致シマスルシ、協議モ打解ケテ  
出來ルカラ同様デアル場合ニハ、命令ヲ以テ簡易ナ事ニシ  
タ方ガ宜シイト云フコトデアリマス、最後ニ法律ヲ適用シ  
難キ船舶ト申シマスルノハ、漁船ノ如キモノデアリマスガ、  
極メテ少サイ漁船、而モ多數ノ漁船ニ付キマシテハ、固ヨリ  
檢疫ハ必要デアリマスケレドモ、之ニ向ッテ此海港檢疫法ノ  
一條以下總テノ條文ヲ適用スルト云フコトハ、實行ガ殆ド

不可能デアリマス、隨テ現在モ内務省ニ於キマシテハ省令  
ノ規定ニ檢疫ニ關シテ細カイ事ヲ規定シテ居リマスケレド  
モ、是ハ大和船ニハ適用シナイテ居ノデアリマス、而モ其コ  
トハ法ノ上ニハ明瞭ニナツテ居リマスガ、所謂此法ニ根據  
ヲ置イテ、是等特別ノ私有船舶ニ對シテハ、必要ニ應ズル規  
定ヲ設ケテ定メヤウト云フ考ヲ以チマシテ、第十二條ノ三  
ノ三ツノ中ニ置キマシテ、提案ヲ致シマシタ次第デアリマ  
ス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○八木委員長 今日ハ是デ止メマシテ、明日ニ議ラドウ  
デス

〔贊成ト呼フ者アリ〕  
○八木委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス  
午前十一時五十六分散會

大正十一年三月十六日印刷

大正十一年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局